神奈川県立有馬高等学校　学校運営協議会　開催結果

本校の学校運営協議会を下記の通り開催しました。

会議名称	令和８年度　神奈川県立有馬高等学校　第２回　学校運営協議会
開催日時	令和８年 10 月 20 日（火）　16:00～17:00
開催場所	有馬高等学校　会議室
出席者	・湘北短期大学教授（学識経験者） ・社家自治会長 ・有馬高等学校 PTA 会長 ・有馬高等学校校長 ・有馬高等学校教頭
欠席者	・有馬高等学校副校長 ・有馬中学校校長（学識経験者） ・同窓会会長 ・社家小学校校長
会議資料	（1）アリンピック（中学校交流試合）について （2）令和８年度　地域貢献デーについて （3）令和７年度卒業生の進路状況 （4）探究学習の３年間の見通しについて （5）「有馬チャレンジ」における生徒の活動状況 （6）「有馬チャレンジ（2026 年)」の実績について
議事録	●各部会協議 （1）地域部会 内容　地域貢献活動についての報告及び協議 ○協議事項 ・ARIMPIC 開催について ・地域貢献活動について ○実施報告に対するご要望やご意見 ・自治会としても困っていたゴミを生徒が一生懸命拾ってくれたのでとても

	助かった。 ○地域協働活動についての要望やご意見 ・地域の方々も楽しみにされていることから、文化祭（後夜祭の花火）も地域貢献になるのではないか。 （2）未来検討部会 内容　有馬高校生の目指すべき未来像と育成手立てについて ○協議事項 ・卒業生（41 期）の進路状況について ・教育課程や特色ある活動について ◯進路実績や探究活動へのご助言、ご感想 ・総合的な探究の時間、有馬チャレンジについてはかなり好意的である。特に、外部とのつながりを持てている点を高く評価していただいている。 ・AI が普及している現代においては、言語化できない部分をくみ取る力を高校生にはぜひ身に付けてほしい。自分で企画・判断し、行動に移していくことのできる生徒を育てていく必要がある。そのためにも、外部との意見交換や提携など対面での交流を大切にしていってほしい。 ◯学校としての見解 ・外部に出ていく生徒数から、有馬チャレンジが定着していることと、チャレンジすることへの躊躇が生徒のなかで減少したと考えられる。 ・外部に出ていく目的を生徒自身に明確化させることが次の課題である。 ・進路実現とつなげられるような「有馬チャレンジ」を打ち立てていきたい。 ●全体会 ・各部会協議のとおり

	●その他 ・12 月 16 日に研究授業を実施する。 ・第 3 回学校運営協議会を令和 9 年 3 月に実施予定。